



KU-MA とわたし

愛知県小牧市で活動する NPO 法人こまき市民活動ネットワークが何故、KU-MA とつながったのか？それはひとえに、小牧にある三菱重工株式会社名古屋誘導推進システム製作所 O B である故佐橋克己さんとの出会いがあったからに他なりません。

当ネットワークの前代表理事、松田敏弘さんが、共に参加していた「小牧市環境市民会議」を通じて佐橋さんと懇意になり、市民活動支援組織への参加をお願いした結果、快く活動にご協力いただいたことがきっかけです。佐橋さんの働きかけで、当ネットワークと KU-MA さんの協働事業が大々的に開催されたのは 2008 年のこと。

「織田信長サミット」開催に向けた「こころのリレー講演」と題し、『ものづくりの日本力』講師 山根一眞さん/元 NHK キャスター、『棟梁 匠のこころ』講師 小川三夫さん/鶴工舎 舎主、『好奇心』講師 佐藤勝彦さん/宇宙物理学者 東大名誉教授のお話を聞く機会を設けさせていただきました。信長と宇宙、一見つながりそうにないテーマですが、「信長は小牧山に城を構えた 4 年間、夜空を見上げながらどんな夢をみていたのだろう・・・」と、そんな佐橋さんとの夢の語り合いにより、KU-MA の皆様とのご縁が出来たわけです。

その後の国指定史跡「小牧山」の継続発掘調査で信長時代のおびただしい石積みの遺構が発掘され、日本初の「石垣を持つ城」日本初の城下町を形成したまちであることが判明、たびたびテレビ番組でも取り上げられるようになりました（東日本大震災で多くの文化財が被害を受けた中、小牧山で大量の石垣発見のニュースは文化庁でも大注目となったようです）。

その後、佐橋さんの働きかけにより、地元の有力企業さんの 1 つ CKD 株式会社の社会貢献事業として、KU-MA との協働事業「CKD「モノづくりから学ぶ理科教室」」の企画と運営をコーディネートさせていただくことになりました。

この会社は空気の力を使った様々な

機械を製造していることから、遠藤純夫先生に講師役を務めていただき、多くの親子連れに楽しく科学を学んでいただきました。今年も、人気の継続事業として開催予定です。

まさに、佐橋さんとの出会いにより、KU-MA の皆様とつながることができましたが、何事にも熱い気持ちで体当たりしてくださった佐橋さんも、病には勝てず、平成 27 年 1 月に他界されました。「人を駆り立てる価値とは何か・・・」を口癖の様に仰っていた佐橋さん。まさに、KU-MA さんは、「人を駆り立てる価値、夢を追いかける気持ちを後世に伝えて行ける団体」なんだろうと思います。

今回の寄稿にあたって、故佐橋克己さんに感謝し、そのご冥福をお祈りしつつ、KU-MA の皆様の今後益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。



▲こまき市民活動ネットワーク総会 集合写真

ー「宇宙の学校」で出会ったことー

ある「宇宙の学校」へ事務局スタッフとして参加した時のことでした。その日は、スクーリングの最終回で実験と発表会のある開校式の日でした。実験を終えて、発表会が行われました。家族でみんなの前に出ておうちで行った実験や工作をみんなに伝えてくれました。全員の発表が終わり、修了証が配られ、片づけもみんな協力して終了しました。

すると帰り際に女の子とお母さんが近づいてきて、声をかけてくれました。お母さんのおはなしでは、その女の子が普段とても大人しくて、あいさつも恥ずかしがってなかなかできないようなお子さまで、発表が嫌だと話していたので、発表のことが大変心配だったそうです。



全部終わって帰り際に、「今日一番楽しかったのは？」と聞いたら、「実験よりも発表だった」と答えたことを嬉しそうに話してくれました。女の子は「楽しかった」とにこやかにお母さんのとなりで笑っていました。そして、先生にありがとうございましたと元気にあいさつをして帰って行きました。嫌なことでも楽しいことに！経験は力！うれしい瞬間でした！（い）

菊地：宇宙に関する記事を書くようになったのは？
林：YAC（宇宙少年団）情報誌の編集の仕事に就いたのがきっかけです。子供たちと一緒に宇宙を学ぼうと。
菊地：宇宙の話題を子供たち向けに書くのは難しいですね？
林：はい、いい加減な説明では子供は納得しませんし、中には非常に詳しく知っている子もいます。
菊地：どんな工夫を？
林：取材に子供たちを連れて行くようにしました。子供たちが質問すると、相手も子供にわかるように説明してくれます。
菊地：子供たちにもいい経験になりましたね。
林：当時一緒に活動した子供たちの中には、今もつながっている人たちがいるんですよ。
JAXA やメーカーで宇宙の仕事をしている人もいます。（笑顔）
菊地：それはうれしいですね。最近はどうな仕事を？
林：国立天文台の仕事で、ハワイの「すばる」望遠鏡に行きました。性能の高さを誇る「すばる」を支える裏方のご苦労に驚きました。機器や装置の精度が高いだけではだめなんです。それを包むドームの保守点検や職人的な装置交換など、毎朝 5 時から高所で働くスタッフたちの過酷な労働があつて初めて、毎晩観測できる。夜中也交替なしで数人で望遠鏡を運用しています。舞台裏を支える人たちの苦労を、多くの人に知ってもらいたいと思います。（レポーター：菊地 涼子）

今回は、宇宙に関する話題をわかりやすく伝えてくれるライター、林公代さん（会員の）のお話です。



▲バイコヌールにて
左：林 公代さん 右：菊地 涼子理事

2015 年度 KU-MA な日々 -Once upon a time-



▲KU-MA 小川 理事（宮大工棟梁）相模原「宇宙の学校」開校式で指導！



▲新宿区立養護学校内重症心身障害児自立支援活動 ひまわり HAUS のみなさんと。



▲おとなの「宇宙の学校」国分寺 的川先生講演



▲企業 CSR 支援 MHI 広島製作所 空気の力や性質についての理科授業



▲座間キャンプ米軍住宅内 Arnn Elementary School で子どもたちと傘袋ロケットを楽しみました



▶平林先生にアルジャジーラの取材がありました。（アルジャジーラは中東を代表する報道機関でアラビア語と英語で国際ニュースを放送している衛星テレビ局です）



▲企業 CSR 支援 CKD 株式会社 モノづくり教室 遠藤先生 指導！